

注目の守

守護姫。この世界の  
怪人と呼ばれる人達を  
倒すために現れた女たち。



ある日偶然天使に力を  
与えられた彼女らは  
私の仲間をどンドン倒し、



アイドルみみたいに人気に  
なってる人もいるとか。

人ばっ

そーんないけ好かない奴が  
アへ顔晒してるなんて  
最高ですよねえ♪



あ、手を休めちゃ駄目ですよ。



さあ、ゲームを  
続けましょう♪。

どうして  
こんなことに……!!

あの日、いつものように  
私はレイカ先輩と  
一緒に戦っていたんだ……

レイカ先輩。歴戦の猛者で  
これまで何体もの凶悪な怪人を  
倒してきた私の憧れの先輩。

本当だったら私なんか会えないけど、  
新人の研修のために奇跡的に  
コンビになることが出来たんだ。

今回の相手は  
手強かったですね……  
先輩がいなかったら  
今頃……

いや、そんなことはないよ。

ミハルなら私抜きでも  
大丈夫だったさ。

先輩は強く、そしてそれ以上に優しくかった。

ある日の戦闘、私が怖くて動けなかった時先輩は言ってくれたんだ。



おにっ  
あ...

おん

気持ち分かるよ。私も戦うのは怖い。誰かに守って欲しい時だっている。

よっ

でも勇気を振り絞って誰かを守った時に思うんだ。ああ、頑張ってたよ良かったなって。

きっとキミもすぐに分かるよ。



その後も先輩はずっと優しく、私も今まで以上に頑張った。

研修を終えて先輩の元を離れるのはすごく寂しいけれど期待に応えたかった。



それなのに……

そこにコイツ、怪人の  
ズイーラが現れたんだ…



ゴゴッ

ちっ、躲しましたか。

さすがは歴戦の戦士と  
いったところですかね…

ですがここまでです。  
すぐ楽にしてあげますよ！

間髪入れず新手かっ！  
ミハル、少し休んでいろ！



先輩と怪人の激しい攻防。  
私はただ見ていることしか  
出来なかった。

わ…私…  
私…

それでも先輩が頑張っ  
ているのにじっとして  
なんて我慢できなかった。

私は飛び出した。  
自分が少しでも  
力になれると信じて。

先輩!!  
私モ…

そこから先は覚えていない。  
でも結果として言えるのは…

私は無力で大切な人を守るところか  
その足を引っ張っただけだった。

あ…

ミハル!?



それとも、もう  
終わりにしますかあ？



えはああん！！

ぼーっとして  
どうしたんですかあ？  
ちゃんと調教のパネルを  
押さないと駄目ですよお？



うう…

でも…



どちらかが身体を差し出して  
様々な調教を受ける。  
心が折れなかったらあなた方の勝ち。  
そういう約束じゃないですかあ。

くっ！

卑怯者めっ！

くわっ！

だから私が身体を  
差し出したんだろうっ！  
なのにミハルまで巻き込んで…

卑怯者？

何を言ってる  
いるんですか？

ずぼっ！

ぐわっ！

約束通り彼女は  
こんな風に犯されては  
いないじゃないですか。

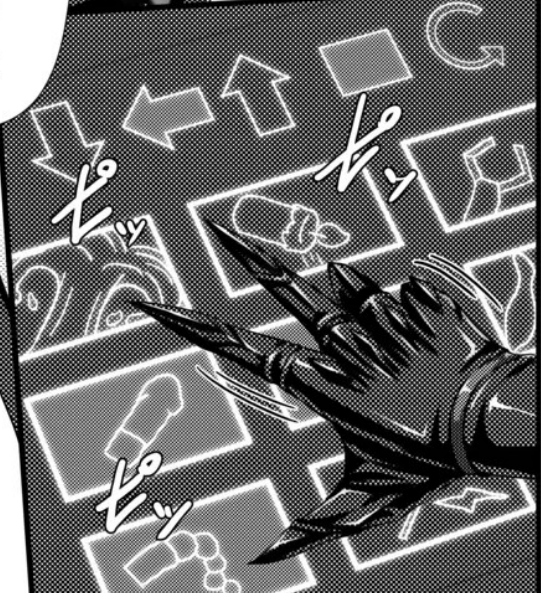
それとも二人で  
仲良く苗床にでも  
なりたいんですか？

ぐわっ！

ぐわっ！

ぐわっ！

ぐわっ！





そもそもあなた方は負けてるんですよ？

あんな負け方だと可愛そうだから情けでチャンスを与えているというのに…

私の優しさに少しは感謝して欲しいですねえ。



続きをどうぞぞ♪

ブルブル

ニヤニヤ



おっといけない。つい夢中になってしまいました。

ハッ



さあ、ミハルさん。

ガク





ふふふ、いいですね。その調子ですよ♪



おやアナルとは。中々良い趣味じゃないですかあ♪



さあどんどんいきましよう♪

道具はまだまだありますよ♪



口も胸もマンコもアナルも... ぜくんぶ気持ちよくしてあげましようねえ♪

ふふふ、それでは  
フィニッシュです！

ゴッ

んっ♡くっ……  
…なんだ…？

止まって  
膨らんで…

んおいおおい！！

んっ♡

んっ♡

んっ♡

んっ♡

んっ♡

んっ♡

んっ♡

いや、愉快愉快！  
さあ次に行きましょうか♪

…私の手で先輩を  
汚しちゃったんだ…

大好きな先輩を  
私の手で…

んっ♡

んっ♡

んっ♡

んっ♡

それから私の先輩を調教する  
日々がはじまった。

いいますよ……



ズイーラに指示される  
アブノーマルな調教の数々……

ま、もっと早く  
歩いて下さい

私は命令されるがまま  
先輩を攻めたてた。



被虐と快楽が  
繰り返される日々…

それでも先輩は  
決して音をあげなかった。



今日はこれくらいにしましょう。  
後片付けは頼みましたよ♪



ああ…  
汗と愛液でこんな  
なっちゃって…

先輩…  
今解放して上げますね



そんな先輩の姿を  
見ている内に私は…







淫乱なあなたでも  
満足出来る特製の  
チンポをあげたんですよ♪

ふふふ♪簡単な勝負です。  
一回射精して堕ちなかったら  
あなたたちの勝ち。  
解放を約束しましょう♪

貴様…  
なんてことを…!!



果たして調教された  
身体で耐えられますかねえ♪

それではミハルさん。

ああああ!!

うああああ!!

どうぞ楽しんで下さい♪

…ついに憧れの先輩を  
犯してしまった…  
私が直接、私のチンポで…

こんなこと駄目なのに…  
いけないって  
分かってるのに…

先輩のおマンコが気持ちよすぎて  
腰が止められないよお…♡

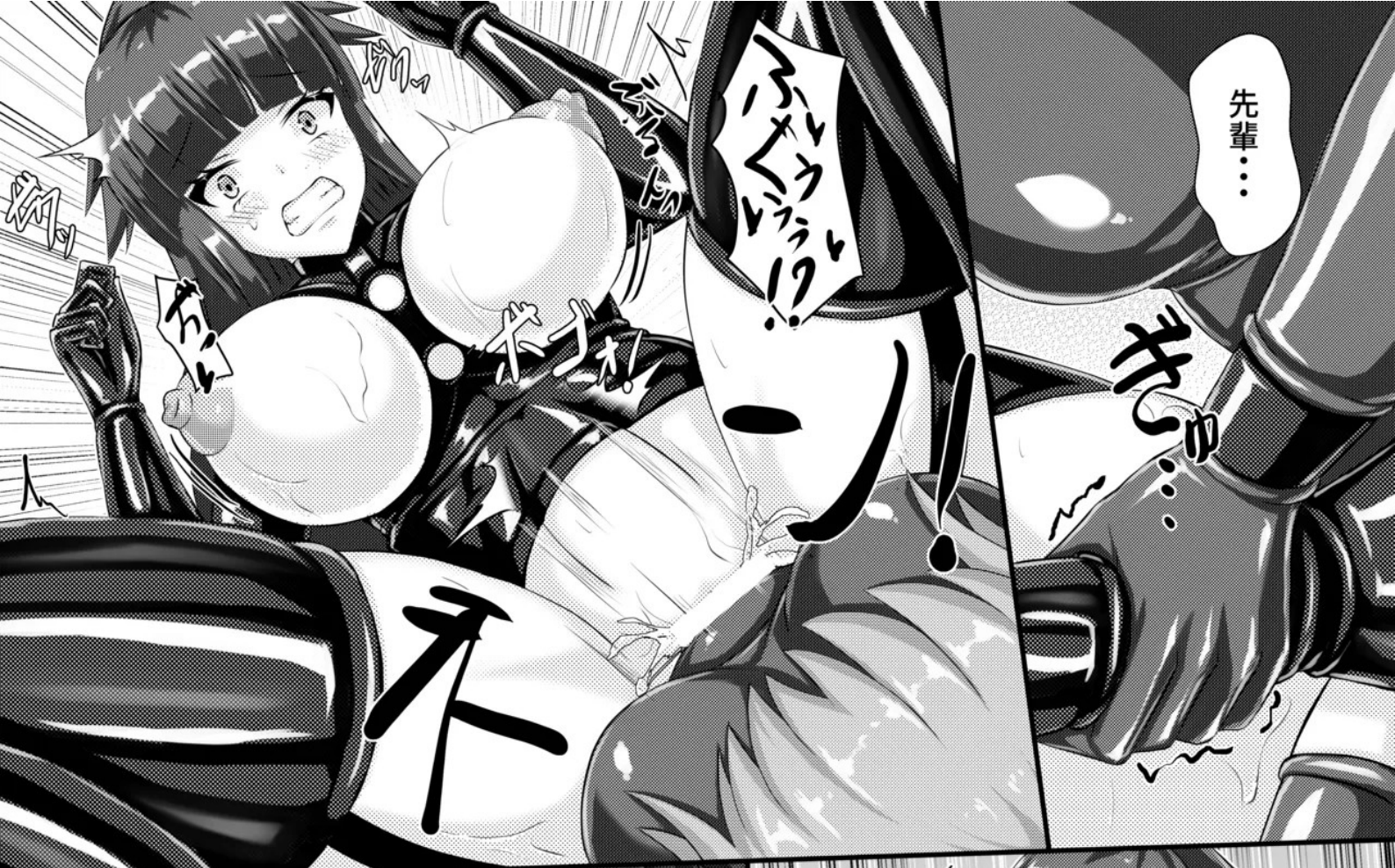
でもきつと…  
これで最後なんだ…

ミミハル…!

そんな辛そうな  
顔をするな…!

あと少しなんだ!  
早く終わらせて  
一緒に帰ろう!





先輩...

ふっふっふっ!!

不

私は先輩を...



射精したい...!

射精したい...!



...先輩、私もう...  
射精しちゃいますねっ...!

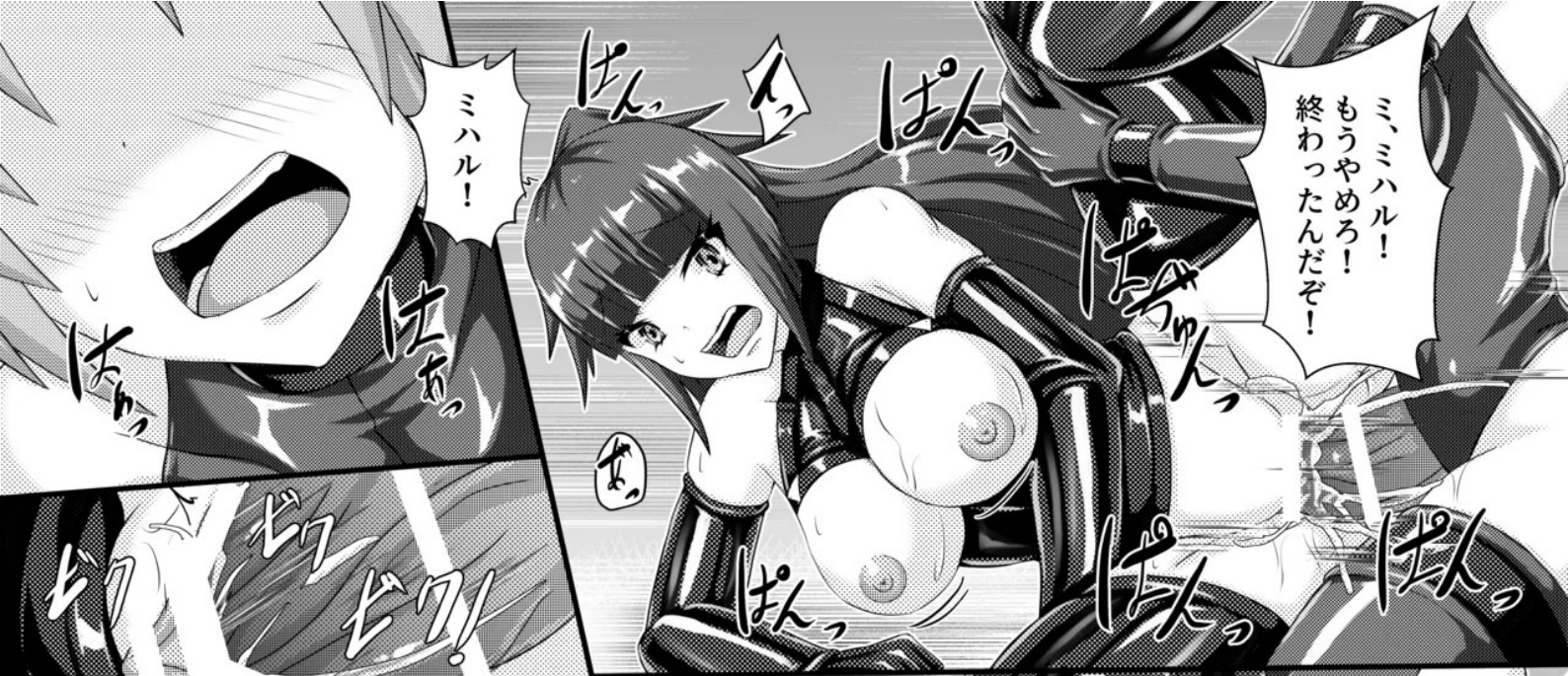
あああ!  
いつでもいいぞ!



先輩の全てを私で  
染め上げたい...!

さっ





ミハル!

ミ、ミハル!  
もうやめろ!  
終わったんだぞ!

ん  
お  
お  
お  
ま  
り!!!

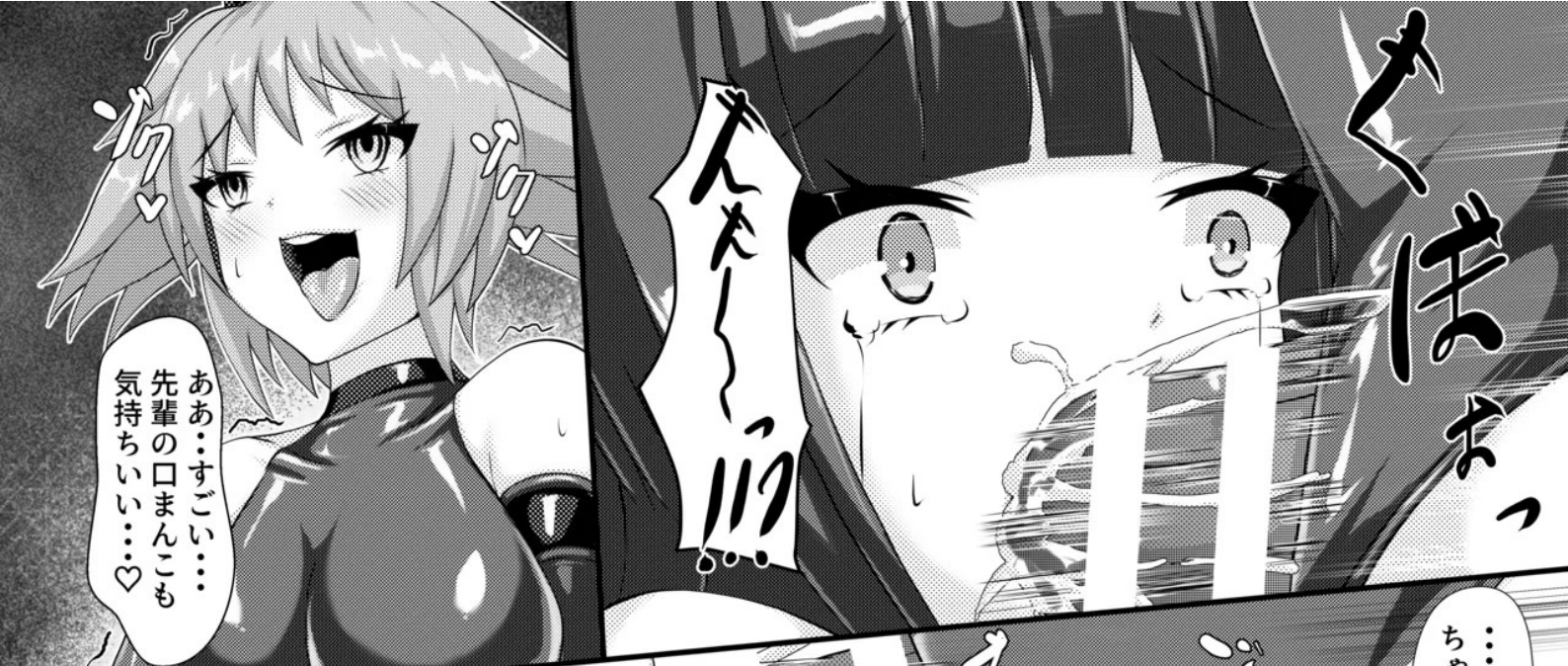


先輩ごめんなさい...



ミハル...  
どうして...

ぞろお.



ああ：すごい…  
先輩の口まんこも  
気持ちいい…♡

んんんん！！

ぐぼん



先輩が好き  
だってことに。

…私、気付い  
ちゃったんです



だから決めました♪



でも先輩とはここを出たら  
きつと別れてしまう。

そしたら私なんかじゃ  
もう会えないんです。

私は先輩とずっと  
一緒にいたいのに…



もう守護姫なんてどうでもいい。  
先輩と出来る限り一緒にいようって。



ミハル…  
そんな…

いやー素晴らしい！

うっ…  
あなたの強い愛！  
私、感動しちゃいました！



…はい！



どうでしょう？  
いっそのこと  
こちら側へ来ませんか？

私に付いてくれば  
あなたの望みを叶えて  
あげられますよ？



そうと決まれば  
行きましようかね。

先輩は…

少し待ってて  
貰いましょう！



ま、まで…！！

いくな！  
ミハルッ！  
ミハルッ！！



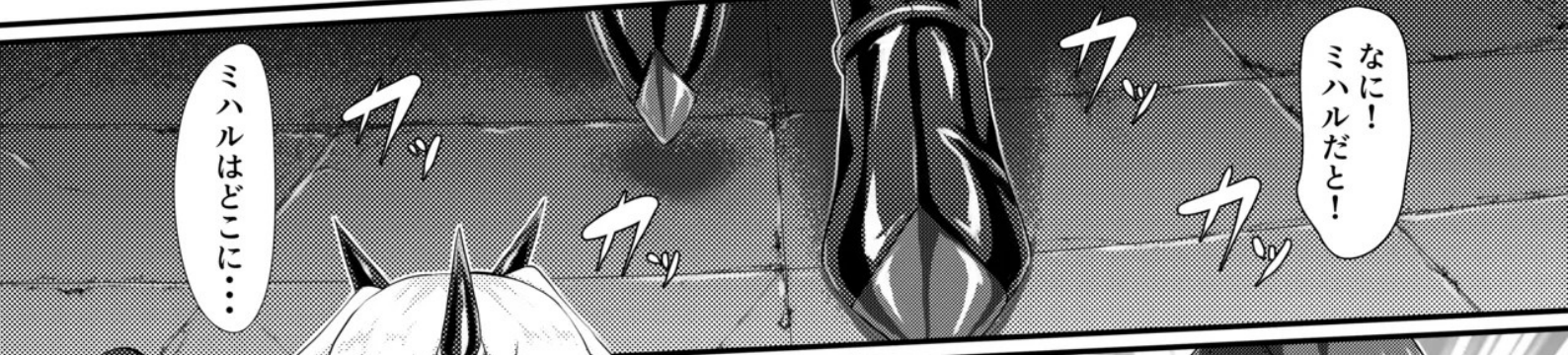
ふふふ…  
あれから数日。

反抗する気力も  
残っていない  
ようです

私…

可愛そうですし、  
ミハルさんに慰めて  
貰いましょうか。

ミハル



なに！  
ミハルだと！

ミハルはどこに…



お久しぶりです。  
先輩♡



うわぁ!!



ああ、すみません。  
つい癖でイジメたく  
なっちゃいました♡

ミハル…  
その姿は…!!

うふふ♡  
どうですか私の姿。  
すごくいいでしょう♪

ズイーラさん達に  
改造してもらったんです。

守護姫だった頃の  
何倍も強く  
なったんですよ

うわー!

トサン

もちろん先輩をもっと  
イジメられるパーツも  
つけてもらったんです。

新しい私の力…  
先輩にたっぷり  
味わって貰いますね♡

やめろ…

やめろ…



人おぢぢ!!

たっ  
たっ  
たっ

たっ  
たっ

たっ  
たっ  
たっ

たっ

たっ  
たっ

でも調教を耐えられた  
先輩はこれじゃ満足  
出来ないですよね?

あはあ♡先輩が私で  
感じてくれる…♡

たっ  
たっ

たっ  
たっ  
たっ

たっ

ふふ♡おっぱいを  
犯される気分は  
どうですか？

ああ、いい声…♡  
とっても気持ちいい  
みたいですね♡

もっとほじくって  
あげますよ♡

ああごめんなさい。  
アナルを忘れてました。

先輩はこっちも  
大好きですもんね♡

えへへ♡先輩の全部の  
穴を征服しちゃいましたあ♡

満足して貰えるようで  
私も嬉しいですよ♡

このままこれで  
可愛がってあげても  
いいんですが...

私もそろそろ  
気持ちよく  
なりたいですし

先輩ももっと太くて  
ごっこつしてる方が  
好きですよね♡

やっぱりこつちで  
愛してあげますね♡

人はあ女あ!



ミ、ミハル……  
待ってくれ……!!

ぬち……

はっ

んはあ♡  
おまんこ♡  
あー!!

んはあ♡先輩の  
おまんこ気持ちいいよおっ♡

ヒダのひとつひとつが  
私のチンポに  
絡みついてくるっ♡

先輩も気持ち  
良いですよね?

私頑張りますから  
いっぱいっばい  
感じて下さいね♡

ん  
ん  
ん

ぱちゅ

ぱちゅ

んはあ♡  
おまんこ♡  
あー!!



んあっ♡射精しちゃううっ♡先輩のまんこ最高ですう♡

ううっ…

すまないミハル…私が弱いせいでこんな…

キミを…守ることが出来なかった…!!



先輩。それは違いますよ。

こうなったのは私のせいなんです。

弱くていつも守って貰うことしかできませんでした。



先輩は私なんかよりずっと強くて素敵です。

どうしようもなく先輩も傷つけてしまっ…でも…

それでも大好きな先輩と一緒にいたかったんです。

だから私に償わせて  
欲しいです。  
先輩がもう傷つかなくて  
済むように…

今度は私に先輩を  
守らせて下さい♡

くちゅ

くちゅ

ギョ

そうか…  
ならば私は…

ミハル…  
ミハル…

くちゅ

ああ、ミハル…  
私も素直になること  
にしたよ…

ず

ん

ん

ん

ん

ん

ん

ん

おまんこだけじゃ足りないんだ…  
わ、わたしの淫乱な穴を…

その、ミハルの手で…  
もっと犯してくれないか…??

せ…先輩…♡

もちろんです!

私、頑張ります!

淫乱な先輩にも  
満足して  
貰えるように...

んはぁあぁあ!!

私のまんことケツ穴が  
ミハル専用の穴にっ♡  
ん♡変わってしまうう♡

あゝ私の中で  
暴れまわってるっ♡

んおっ♡太いい♡  
凶悪チンポと  
ごっごっした尻尾がっ♡







これからはミハルと  
ずっと一緒にいるからな♡

私も幸せだよ♡  
こんな気持ちは初めてだ♡



ああっ幸せ過ぎますっ♡  
落ちてよかった♡

こんな日が来るなんてっ♡  
一緒にいられるなんてっ♡



んっ♡ミハルのチンポが  
振るえてるぞっ♡

ああいいぞっ♡  
射精してくれっ♡

んはああ♡  
先輩っ♡私もう  
イっちゃいます♡

ミハルのザーメンを  
膣内に存分に  
射精してくれえっ♡



イッ  
ウウウッ!!

イッ  
グッ!!

イッ  
クッ!!



うふふ♡先輩と私の  
前では守護姫なんて  
敵じゃないですね♪

あなた達なんかは  
先輩は指一本  
触れさせません♪

先輩は私だけのモノ  
なんですから♡

あとでいっぱい  
可愛がって  
あげますからね♡

さあ先輩さつさと  
終わらせましょう♪

あ…

くた

# 淫辱 墮落 遊戲

—Entwined in the Sweet  
Abyss of Corrupted Love—

**R18**  
成年向け



Presented by

背德研究所  
黒鎧

I Never Want to Let You Go, Forever